

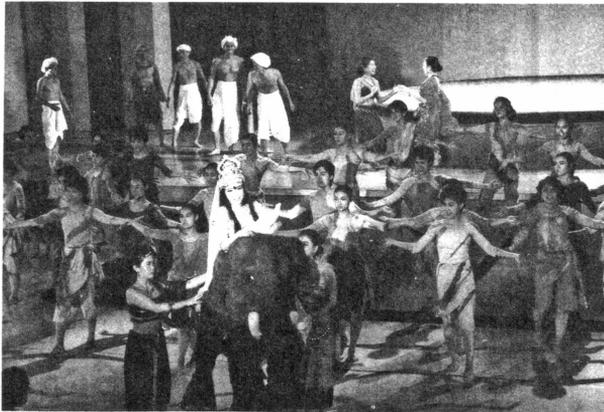
1988 5/23 ミュージカル  
**「ブッタ・シャカ・ムニの誕生」上演**  
 釈尊誕生とその半生  
 イベントステージ・ビックパオ



発行所  
**曹洞宗青年会**  
 〒105 東京都港区芝  
 2-5-2 曹洞宗青年会内  
 発行責任者 神野晋州  
 TEL.03-454-5411(9)

青年宗侶のエネルギーを結集しよう  
 社会的価値ある活動をしよう  
 青年宗侶の自覚を促そう  
 地域における活動の連携を深めよう

「ブッタ・シャカ・ムニの誕生」— 場面



四月二十六日の奈良東大寺で行なわれた「千僧法要」に引き続き、五月のラストウィークを「花まつりウィーク」として、『なら・シルクロード博』春日会場内全曹青主催のミュージカル『ブッタ・シャカ・ムニの誕生』が多彩に上演された。

目次

九州曹青宮崎大会	1
北海道第二宗務所青年会十周年大会	2
禅文化学林「ネパール・タイ研修の旅」	4
「仏教ホスピス」をめざして	5
散歩道	7

灌仏会



元興寺で灌仏法要

この期間五月二十三日は旧暦の四月八日にあたることから、奈良市元興寺において全曹青、地元近畿曹青、多数の御随喜をいただき、釈尊の誕生を祝うとともに、仏法興隆を願ひ灌仏法要が行なわれた。

ブッタ誕生のドラマを  
 楽しいミュージカル仕立てで構成

二十五日二十七日まで「なら・シルクロード博」春日野会場イベントステージ・ビックパオでは、「ブッタ・シャカ・ムニ」のミュージカルが上演された。  
 黒衣の托鉢僧(全曹青出演)とコロスたちが登場し、釈尊(ブッタ・シャカ・ムニ)と高第サリ(ブッタ・舍利弗)の問答(七始まり)はこのミュージカルは、全曹青が特に「なら博」に参画する記念として、脚本を津津木文化研究所・津津木秀甫氏に書き下ろしていただき、演出を関西芸術座所属・岩田直二氏に依頼して企画された。仏教の本質は「生きる喜び」であり「生命の尊厳」を釈尊誕生のミュージカルを通して表現されており、関西の新劇団「迦羅倶楽部」五期会、そして日本歌劇学校(O.S.K.)の五十三人のキャストがその内容を見事に演じていた。  
 イベントステージビックパオでは午前十一時と午後二時より一日二回、三日間の公演で延べ八千人の観衆の入场を数え、「ブッタ」の世界を満喫していた。  
 また今回の書き下しの脚本は各曹青が諸行事の際に上演ができる様に構成されており、利用が望まれる。

奈良  
 元興寺



破草鞋

※今日、早朝より赤の間の電話のベルがけたたまくしく鳴る。  
 寝惚け眼で受話器を取る。隣の御寺院より僧侶の拝請電話である。先月日程より職務も用僧も皆無に等しい状態であった。  
 電話に何やらホッとした様な安堵感さえ覚えた。曹山寺院の悲哀であり、そして悲しい習性である。  
 ※水六輔(僕は寺の子、坊主の子)の中に二六事件がある。  
 こんな風貌を創造していただきたい。家族が行き交い、笑い声も聞こる。誰かが来る。家族はシーンと静かになる。狭い家だから訪れてきた客と接待する母親の音が簡ぬけに聞こえる。「父が亡くなりまして」——中略——  
 日常生活の中に、突然、人の死が訪れてくる。そして、それが寺の仕事なのだ。——中略——  
 檀家の不幸は、そのまま寺の人間にとっても悲しみでなければいけないのだが、その不幸がそのまま収入でもあるわけである。  
 ——中略——借金があったりすると、檀家の不幸を待ちわびている自分に気がついたりする。  
 勿論そんな邪念は否定するのだが、その時すでに嫌悪感にさいなまされるのだ。そんな後ろめたさの中で育ってきた。  
 小さな、法事だけが収入源の「寺の子」なら誰だって経験している痛みである。以下へ続く。  
 ※先月その隣寺に初孫が出来た。早速の体面となった。お祖父ちゃんに似ずなかなか可愛い女児である。恐ろしく可愛の中にする。何か語ろうとするその口元が、「生濁りないぞんだその眸は何とも可愛い。思わず頬に口づけをする。そうさ、君こそ私さんなんだ。人管生まれないがにして仏と云う。しかし、君の様な無心さよ産んだらどう？……何処へ人は忘れて来てしまおうのだろうか？……そう思いつつ隣の老僧の顔をジッと見つめてしまう。

# 確実な活動を

## 臨時理事会を開催5/30

奈良に於いて灌仏会、ミュージカル『ブッタ・シヤカ・ムニの誕生』を盛会裡に円成させた全曹青は、五月三十日宗務庁に於いて臨時理事会を開催した。

理事会では、四月の「千僧法要」、五月の「花まつりウィーク」に数多くの協力に参加がなされたことが報告された。

また七期全曹青、六十三年度事業がより一層の充実を期し確実な活動とするため、今後の「なら・シルクロード博」関係行事(昭和六十三年十月一日～二十三日)『坐・精進料理』や、第九回禅文化学林『ネパール・タイ研修の旅』(昭和六十四年三月二十九日～四月五日)、パソコン通信網の整備、「仏足跡(石)」販売、各委員会の計画等、全曹青運営に関する協議が慎重になされた。(委員会報告・八面)

# 報 告

## 九州曹洞宗青年会

### 宮崎大会

今年で第十八回を向かえた九州曹洞宗青年会は、去る六月十三日宮崎県延岡市台雲寺に於いて開催された。

大会には九州各県曹青会員は勿論のこと、全曹青より会

長神野哲士師以下事務局、それに全曹青顧問吉岡棟憲師や

四国曹青からも参加を戴き予想以上の盛会であった。

## 講師に中野東禅先生をお迎えして

# 「生命問題」研修

### 「生命問題」研修

今回の宮崎大会は、懇親会を除いて、講演、総会等を延岡市の台雲寺を会場として行なう事になり準備を進めてきた。当日は、九州各県遠方より出席される関係生午後一時三十分より開会、開会式ではまず較若心経を全員で誦経し九州各県曹青関係者の追悼をした後、当県会長甲斐義康師挨拶、来賓を代表されて宗務所長大村快雄師挨拶、引き続き記念講演という次第で大会が開始された。

記念講演の講師には、曹洞宗教化研修所主事、駒沢大学講師の中野東禅先生をお迎えして、現代社会の抱える生命問題、つまり脳死、臓器移植、死の看とりなど人間本来の生、老、病、死を様々な観点から説明して戴き、さらに実際行なったアンケートを基にこれからの我々青年僧侶の進むべき道を示唆して戴いた。

## 相互協力の 青年会活動

宮崎県曹洞宗青年会事務局  
法泉寺副住 甲斐史郎

毎年九州曹青は、当番県を決めて大会を開催しておりますが、その準備を進めてゆく段階で県内会員相互の協力は勿論、各県の協力無しでは到底開催する事が出来ないと痛感致しました。

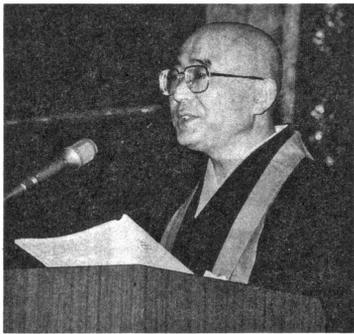
全曹青会長神野師をはじめ遠方より御参加戴きました会員の皆様方、また講師を心よく引き受けて下さいました中野先生大変ご苦勞様でした。

尚、今回の大会運営で御援助、御理解を戴きました関係者の皆様方、真に有難うございました。この紙面をお借り致しまして御礼申し上げます。合掌

### 会場主 台雲寺堂長老 急逝

大会の四日突然台雲寺堂長老田康哉師が御遷化され会長以下役員一同ショックを受けたが、寺族、総代様方の善意をもって会場を使用し開催が可能となった。大会では開式中追悼法要が営まれ、堂長老の冥福を祈った。

## 講師 中野東禅先生



法要の際にご本堂などで

妙法蓮華経  
●新装版・可読版  
●新装版

修證義  
100冊未満  
1冊につき ¥500

修證義ミニ本  
100冊以上・1冊につき ¥80

修證義ミニ本  
5冊以上・1冊につき ¥500

別編全額仕上げ表紙(3冊セット) ¥7,000  
洋紙(白黒も)仕上げ表紙(3冊セット) ¥6,000

●お申し込みは— (株)タイキ 〒538 大阪市鶴見区今津中丁丁目9番6号  
TEL(06)969-7191 FAX(06)969-7194

# 椅子坐禅とお話の会開催

## 結成十周年

### 北海道第二宗務所青年会

全曹青に団体加盟をはした北海道第二宗務所青年会(選辺文英会長、会員九十九名)では、本年結成十周年に当たることから、「ころを洗う」と銘打って「椅子坐禅とお話の会」を五月二十八日(午後二時)より岩見沢市民会館にて開催した。

## 600名が参加

### 講師に

#### 北海道教化センター

#### 統監 島崎光雄師

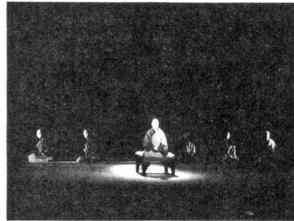
#### 放送タレント

#### 永 六輔氏



講師は放送タレントの永六輔氏、北海道教化センター統監島崎光雄老師、前者は六〇名でした。

島崎統監は「椅子坐禅とお話の会」に招かれました。永六輔氏とのジョイントでしたが、永六輔氏とのジョイントなど言っていました。



も全く異質の取合せであり両者間のつながりはありませんでしたが……実行委員の方々の綿密なスケジュールのたてかたど、講師に対する微細にわたる心くばりに感心致します。今をときめく永六輔氏のお話はさすがに子タレントだけあって聞切れもよく、パイオテックラジオという最近の話題性にも富み参加者も惹き込まれるように聞き入っていました。そのあとの禅話、あれだけ沸いたあとを、引き締めるのか、それとも幾分は追随したほうがよいのかと迷いながら話を、さっぱり自分自身でつかめず、たぐえられた四十分以内で納めるのに必死でした。」と後日苦言を語られておりました。

タレントとのジョイントはやはりやりずらい面が多分にあると思います。今後ともあれ、十周年の節目に、そして全曹青加入の年に、会員一同この会を合せこの会を無事円成できたことは当青年会にとって大変意義深いものとなります。今後、地域に密着して禅を聞く会の在り方をさらに探究して大衆教化の一環としたいと思えます。

九州大会終了後、福岡曹青、熊本曹青の全曹青正式加入が伝達された。これにより九州曹青は全て全曹青加入となった。

## 加入数四十四団体

福岡曹青 熊本曹青

## 団体加入 約三千五百名の会員

特別企画

### 曹洞宗管長 大本山永平寺貫首 丹羽廉芳猥下御親修

#### スリランカ8日間

パラマ・ダンマ・チューティアピリヴェナ寺院  
坐禅堂落慶法要

僧侶を中心として仏教が民衆の生活に根を下ろし、初代仏教の純度が最も良く保たれた平安の地、スリランカ。第八回曹青文化海外研修の修行を行なった道場として皆様の記憶にも新しい所と思えます。

此の程、スリランカ・パラマ・ダンマ・チューティアピリヴェナ寺院に坐禅堂が建立されました。今回は特に大本

期日 一九八九年一月十九日(水)～二十一日(木) 八日間

募集人員 一〇〇名様(定員になり次第切らせていただきます)

会費 二五、〇〇〇円(成田空港発着料金です)

後援 大本山 永平寺

旅行主催 東武トラベル

☎(三)六二四一二三七代

### 寂円禪師について

寂円禪師は南宋の時代に洛陽に生れたと伝わっています。幼い頃から軍波の天童寺で修業を積み、宝慶元年(一二二五年)、中国へ渡つていた道元禪師と出会った。その人柄にひかれ師弟の関係を結んだといわれています。その二年後に道元禪師は帰国しましたが、寂円禪師は二二二八年に師を慕つて来日しました。以後、道元禪師の高弟として曹洞宗大本山永平寺の創建と発展の基礎を築いた功労者として知られています。二五三三年に元禪師が亡くなると永平寺を去り、大野市の南、銀杏峰のふもとで十八年間苦行を続けました。この密に感動した地元の豪族、伊知良知俊が寺を建て、禪師が来日した年の南宋の年号を尊んで「宝慶寺」と名付たといわれています。寂円禪師は同寺に四〇年ほど住み、二二九九年に九十三歳で亡くなったといわれています。

## 山 中 団 訪 里 歸 寂 円 禪 師 開 山 寶 慶 寺

期日 一九八八年十一月六日(日)～十三日(日) 八日間

募集人員 二〇〇名(最小催行人員一〇〇名)

会費 二八、〇〇〇円(全食事付、送迎同行)

申込方法 参加申込書を明記のうえ、申込金三万円を添えて、〒二二二 福井県大野市天神町6-124 大野市教育委員会内助 中団実行委員会事務局、〒三〇一 一名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞本社 社会事業部内訪中団委員長 実行委員会 分属(お申し込みは、八月三日(日)まで、定員になり次第締切ります)

特別後援 旅行主催 大日本中国旅行社

取扱主品目……紫檀製品・注文仏像・各宗念珠・仏具全般



# 株式会社 宗像商会

## 本手打盤子(一枚仕上げ)

## 本楠木魚 特別奉仕中!!

「全曹青企画 仏足跡 発売中」

- 盛岡支店 〒020-01 岩手県盛岡市みたけ5丁目10番48号 ☎0196(41)3955(代表)
- 本 店 〒189 東京都東村山市富士見町3丁目2番17号 ☎0423(95)8505(代表)
- 函館支店 〒040 北海道函館市亀田町19番18号 ☎0138(43)8551(代表)
- 松山支店 〒790 愛媛県松山市和泉北1丁目5番20号 ☎0899(47)2013(代表)

# 名誉団長に 曹洞宗宗務総長

# 檀山大典老師

昭和64年3月29日、東京（成田国際空港）をAI（エア・インディア）1307便で12時20分出发、大阪を経由、14時35分第二の経由地バンコクへむけておよそ八時間（時差二時間を含む）の空の旅です。

今回の海外研修は名誉団長に、宗務総長 檀山大典老師をお願い致し参加していただくこととなりました。



- 大3、5、18生
- 〒339-1室 青森県三戸郡名川町大字法光寺
- 字法光寺20 法光寺住職
- 昭56、10、27 大教師補任
- 昭56、11、27 赤紫恩衣被著特許
- 駒沢大学仏教学科卒
- 曹洞宗宗務会議員に当選 現在に至る
- 曹洞宗責任役員伝道部長就任
- 昭53、3、3 曹洞宗責任役員伝道部長就任
- 昭53、3、3 同 教化部長就任
- 昭60、6、3 曹洞宗代表役員宗務総長就任
- 昭62、12、6 東京グランドホテル代表取締役社長就任



# 第九回禅文化学林 ネパール・タイ研修の旅

昭和六十四年  
三月二十九日  
四月五日 八日間

■■■■お問い合わせ先■■■■  
**全国曹洞宗青年会事務局**  
 東京都港区芝2丁目5番2号  
 曹洞宗宗務庁内 TEL. 03-454-5415  
 又は、最寄りのピーエス観光

研修主催 全国曹洞宗青年会  
 後援 曹洞宗宗務所  
 協賛 インド航空・ロイヤルネパール航空  
 旅費 298,000円  
 (東京・大阪発・東京着)  
 全食事  
 添乗員同行

タイは“微笑の国”といわれ、タイの人たちは開放的で観光で訪れる人々を温かく迎えてくれます。バンコクは人口約500万人の近代都市です。仏教国タイには4600ほどの寺院があるうち、約400寺がバンコク市内に散在しています。日本の権家制度の寺院とは異なり各人が菩提寺を持つことがなく、日本の飛鳥、奈良時代のように、歴代の国王や王族が国力、財力をあげて建立したもので、当時の偉大さがうかがわれます。特に王室ゆかりのエメラルド寺院は華麗で豪華なタイを代表する寺院です。バンコク市ククロントイ・スラムの一角には曹洞宗ボランティア会が新事務所を建設中であり、その完工予定が海外研修の日程とかさなることから、完工式にも参列を予定しています。

## 我が曹青を語る(14)

宮崎県曹洞宗青年会  
 会長 甲斐義康



### 九州曹青宮崎大会を終えて 和合僧の精神をもって

宮崎県曹青会は、昭和五十八年結成され、今年で六年目を迎えます。現在、会員三十数名四十才までで正会員として諸先輩老師の方々は、賛助会員となって戴き、御指導を仰ぐと共に会費等も御援助頂きながら和合僧の精神を基に歩み今日に至っております。

毎年ソフトボール大会、研修旅行等を行い、会員の親睦を図りながら春秋には会員の自己研修を目的に法式研修又布教教化の為、会員の集演を入れて布教講習会を行い、組織の充実を図ってまいりましたが、曹青通信でも御紹介しましたが、研修の結果をまとめ、昨年説教の原典昨年法と題し小冊子を発行致しました。又大衆教化の接点を求めたのテーマのもと禪に親しむ会を開催し禪を見て聞いて生活に生かすを基本に岡本山の映画椅子坐禅の実施又講演に阿部圭祐老師をお迎えして催し、理想を上回る一般参加者の出席があり、また是非こうしたい会を開いてほしいと言声が多くありましたので今後宮崎曹青の活動の中心に思っております。

今年、六月十三日第十八回九州曹青会宮崎大会を開催し我々会員の意識向上の為青年僧侶を対象に中野東禪老師を講師にお迎えして「生命問題と僧侶の姿勢」と題し最近にわかに問題となっている、臓器移植にかかわる脳死又死の受容といった生命問題を幅広く御講演戴き、夜は懇親会入り出会う講演同志やかな中に意義深い大会であった事を喜んでいます。他の県に比べて少ない会員ですが、今後も和合僧の精神を中心に活動していきたいと思っております。最後に各県曹青会の益々の発展をお祈り致します。

# 海外研修

神々の山ヒマラヤに抱かれた秘境ネパールの首都カトマンズは、標高約1350メートル、人口は約60万人のまち「神々の住む街」です。

街中にヒンズー教の神像や、仏陀の浮彫り、石像があり、朽ちるにまかせてある中期からのどの民家にも目を見はるばかりの素晴らしい精緻な彫刻が施されています。猿の神を祀るハヌマンドカ宮殿や目玉寺として有名なスケヤンブナード寺院などがあります。又、バザールを歩けば、ネパール和紙の版画やチベットのタンカ(仏画)など、ここに宗教と芸術とが溶けあった人々の生活があります。また、ネパールでは小学校訪問と仏教遺跡を中心としたヒマラヤ散策、現地仏教徒との交歓会・合同法要・托鉢などの交流を計画しています。



講師に鈴木格禪先生

また、講師には、駒沢大学教授、鈴木格禪先生をお願いした。先生は七月三日より、左記の日程でNHKラジオ、こころをよむ「正法眼蔵随聞記」の講師を九日まで務めます。御参考ください。

講師 鈴木 格禪(すずき かくぜん)  
大正十五年 愛知県に生まれる。  
昭和十八年 駒沢大学仏教学部卒業  
現在 駒沢大学教授。

- 目次 (日曜日) 午前11:15~12:00
- (次曜日) 午前11:00~11:45
- 第一回 無常の世 7月3日、再7月5日
- 第二回 人間の誠 7月10日、再7月12日
- 第三回 求道の純 7月17日、再7月19日
- 第四回 参学の契 7月24日、再7月26日
- 第五回 利鈍の別 7月31日、再8月2日
- 第六回 教導の実 8月7日、再8月9日
- 第七回 無心の安 8月14日、再8月18日
- 第八回 無縁の行 8月21日、再8月23日
- 第九回 孝養の真 8月28日、再8月30日
- 第十回 古徳の心 9月4日、再9月6日
- 第十一回 学道の権 9月11日、再9月13日
- 第十二回 仏道の願 9月18日、再9月20日
- 第十三回 真実の光 9月25日、再9月27日

## 佛教ホスピスをめざして(三)

### 中野東 禪

米国においては、この二十一年間で癌の病名告知は急速に増えて九〇%以上は告知している。もちろん告知しない方がよい場合もあるが、告知によって患者や家族を苦しめる場合も生じてはいるようである。それに、医師の逃げによって告知をすることもある。もちろん中心は患者のための告知が主ではある。こうした状況になったのはホスピス運動があり、そして米国人の合理的精神もあってのことであるが、そのカケには医療訴訟の増大もかなり告知を一般化させる動機になっていると、関係者は言う。

日本では、病名告知は五%くらいだといわれている。しかしかつては日本の仕方によって病名告知があったという指摘がある。木村利人さんはバイオ・エシックス・生命倫理の専門家として世界的に活躍しておられるが、先日ごん話をしておられた。友人のアメリカ人が言うには、「黒沢明監督の『生きる』を見れば、医師は志村喬扮する患者に向かって、「何でも食べていけますよ」という。あれは日本人の約束事の中で、「もう手のほど

しようがありませんよ」という病状の告知ではなにか」といわれてきたのである。東がかつて「と」ってまわすか数年間前まで「日本にあったことを思い出させる。病名告知をうける側の精神的あり方は、現代日本人の生き方や精神のつよさを改めて問われているのだと言ってもよいであろう。

自分がかつて直腸から出血して病みうろたえを経験から、死の恐怖にむける自我を五段階に分けてみたことは前回の書回した。そして、それぞれに病状の分野と解決の分野を想定した。それは

- (病状の分野) 治療の努力
- 生理的の自己
- 倫理的の自己
- 仕事・家族 意味を考える
- 経済の恐怖
- 視点回復
- 民族的の自己
- 死後の恐怖
- 死者の尊敬
- 哲学的の自己
- 自己の回復
- 宗教的の自己
- 運命を悟る
- 運命を認す
- 自己の回復
- 運命を認す

## 病名告知を受容

みや哀痛が進行するはしたが、病状や死という事実がだんだんしかなものになってくる。病状が安定し考えるゆとりのある時には観念自己の死を納得しようとする。しかし更に病状が進行すると事実が真にせまってくる。ところが観念がそれを認められない。その精神的混乱がいかりになる。佛教では「苦」は観念と事実のギャップだとみる。病人にとつてそのギャップはいかりとなつて

大学の経済学部の学生に禅の講義をする役をおせつた。以来、学生に感想文を書いてもらった。その中に「自己の死について、必ず提出されている。昨日まで他人のことだと思ひしに俺が死ぬとはこいつたらんぞである。」

- (A) 逃げ道のない恐怖で混乱する。その恐怖は、苦痛に対して、仕事をうごこし自尊心を失うこと、家族の心配や分離すること、孤獨、病いと死という未知なる体験や世界への恐怖などである。しかもそれは、逃げ道がないところないへんな抑圧がある。そこで観念的に逃避しようとする。
- (B) 事実を認められない観念の束縛。痛みや哀痛が進行するはしたが、病状や死という事実がだんだんしかなものになってくる。病状が安定し考えるゆとりのある時には観念自己の死を納得しようとする。しかし更に病状が進行すると事実が真にせまってくる。ところが観念がそれを認められない。その精神的混乱がいかりになる。佛教では「苦」は観念と事実のギャップだとみる。病人にとつてそのギャップはいかりとなつて
- (A) は死を説明しない。それが事実の受容ということである。観念の放棄ができていく。あるがままだという宗教的態度はまさに事実の受容というところである。
- (B) 自己の人生の意味を問われる。充足していない自己は足もたらなくす怖る。これは死に直面したいへんな恐怖心を作る。
- (C) 願望のゆるうごき。安定しているときは、死後と残る家族に希望を托し、混乱すると奇蹟や見たてちいだつたなどというはかなき願望をもつ。
- (D) しかしこれらの中で、ついに宗教的受容の糸口がかけられることに気づく。

法衣 京仏具  
大本山御用達  
伝統と信用の店

株式会社

# 松本屋

■本店  
京都市下京区寺町通高辻角 (〒600)  
TEL 京都 343-1200(代)  
(075) 351-5258-5255

■工場・仏具センター  
京都市山科区西野山射庭ノ上町311-5  
TEL 京都(075) 593-0166

# 人物紹介 此寺に和尚あり

岩手県 江岸寺徒弟 大萱生秀明師

岐阜県 常栄寺住職 佐川龍弘師

## 大禪問答の



## 首 座 和 尚

大萱生知明君について

知明君と言っても御存じ無い方が多いでしょう。でもNHKで放送した永平寺の大禪問答の首座和尚と言えば、ああ、あの和尚兄かと思いがたくなるでしょう。彼は、昭和四十二年二月二十一日、岩手県上野伊部大畑町、海龍山江岸寺住職大萱生秀明老師の次男として産声をあげました。中学校の時は柔道、高校はバスケットと運動神経はまあまあ良かったようです。でも聞く所によると、高校時代には停学を三回程も受けたといひ強者で、下級生のみならず、同級生にも一目置かれていた存在だったといひます。

その彼が高校を卒業する頃、急に水平寺に行きたいと師僧さんにお願ひしました。それまでは、手に職を付けて商売をしたいと言っていた彼が、なぜ急に僧侶

## 岐阜曹青の



## エンターテナー

岐阜曹青のエンターテナー

岐阜県常栄寺住職 佐川龍弘師

巷に一時期、血液型性格判断なるものが大流行した。この男を見る限り、その説は実によく当たっている様な気がする。岐阜曹青の関市富野「佐川龍弘師」である。

師は三重県・浜島町、第二九四番徳林寺住職在川大覚老師の長男として昭和三十一年二月十日誕辰。駒沢大学法学部卒業後、都内中野のコーヒードの閉屋にて社会勉強を積み、昭和五十五年春水平安に安居、翌五十六年送行現在に至る。

その彼の身中に流れている血液が、あの特異なA B型なのである。天才とも狂気とも云えるあのA B型なのである。此のA B型が時々顔を出す。秋田生れの師匠の影響らしい？ 声色もまったくの瓜二ツであるが、詭りもこれと同じで、電話機を通したらず区別がつかず、徳林寺副住持代には檀家さんもまず分困惑したそうである。

影響と云えば、元永平寺の尚事和尚を務められた師匠大覚老師の厳しい指導の下、法式にも大変明るく、大行事にもどの役もそつなくこなす。法話も上手で、一本筋の入ったなかなか堅物な和尚である。又、アイディアマンでもある彼は、その人柄と手腕をかわれ、昭和五十八年六月十一日と三重曹青の副会長として縁蔭を担当し、マンネリ化を云われていた縁蔭に新風を吹込んだのである。

子ども好きで彼は早朝坐禅会、日曜学校と児童の教化活動にも大変熱心であった。昭和六十八年八月、仏縁をつたて現住地、常栄寺住職となったのである。岐阜曹青も大変優秀な人柄を得たものである。

しかし、そんな彼が何故A B型なのかと云うと、荒唐になると彼の性格がコロコロと変わるからである。断つておろが、決して酒の勢ではない。酒の浸透する前から酒は日本酒、洋酒を問わずよくよく愛する彼が、酒で我を忘れる事はないし、酩酊する事はまず有り得ない。彼の居る寮房は実に楽しい。三波春夫の、飯屋玄藩の「酒浪曲」から、桑田佳祐の「チャ

の道に入らうと思つたのか、これは本人に聞いてみたいと解かれません。高校三年生の時に、彼の兄である良寛兄が、永平寺での修業から帰ってこられ、色々御山の事を聞かされたらしいので、自分も行きたい気持ちになったのかも知れません。でもその頃の彼は、お経はおろか、お袈裟の付け方も知らなかつたそう。そんな状態で御山の修業が務まるのだろうかと師僧さんは心配されたよう。御山には、良寛兄が上山し且通寮四日目の時、廊下で良寛兄と会つた時に「帰りたい」と弱音を吐いた事もあつたそうです。

その彼から、三年目にして御山の首座をする師僧さんに連絡が入つた時は、お家の方は最初信じられなかつたそう。制中があげて無事首座和尚の大任を果たされた時は、知明兄のみならず、お家の方々もはつと喜ばれたと聞きました。

御山を降りた知明兄は、僧侶とはちがう仕事をしてみたいと師僧さんにお願ひしたそうです。師僧さんも、十八才で御

コ、の海岸物語」の字余りソングまでレパートリーも巾広、回りの者総てを彼のペーシに包み込んでしまふのである。

誰がそのか、彼のことを、夜のエンターテナー」とも、宴会のマジシャン」とも、兎にも角にもはちやもちゃに愛身して、しまふのである。その異常さに彼が正常なのか？ 回りが正常なかつたのか？ 解らなくなってしまうのである。彼のあまりに特異な性格に今近隣の岐阜曹青諸兄も徐々に犯さつてつあふうた。

傍で、その大なる豊かなりズム感と音感を生かした彼は梅花流師範へとその道を求め、み仏の御加護と彼の努力と実力を運氣を充てて見事三級師範へと着実にその道を究めているのである。

又、彼に犯さつてつあふ近隣の若手僧侶達と児童の巡回布教伝導の基礎作りに懸命であるらしい。(ヘアブサート、人形劇等の資料をお持ちの諸兄、是非応援して上げて下さい。)

彼のこと故、その実現も間近であろう。そんな彼に、三重の地より私エールを送る。

これだけ奮めたのだから、キッとこの秋には彼の寺の裏山で採れた松茸が私宛に届くであろう。(目)

## インド仏跡巡拝の旅 '88~'89

- 1 釈尊六大聖地巡拝の旅(8日間).....318,000円より  
(昭和63年7月~昭和64年3月 毎週水曜日発) (大阪・東京発着)
- 2 釈尊六大聖地巡拝とタムルジマハールの旅(12日間).....358,000円より  
(昭和63年7月~昭和64年3月 毎週水曜日発) (大阪・東京発着)
- 3 六大聖地巡拝と仏教美術・ヒマラヤの旅(15日間).....437,000円より  
(昭和63年7月~昭和64年3月 毎週水曜日発) (大阪・東京発着)
- 4 仏陀の生涯を訪ねて(16日間).....438,000円より  
(10月17日~11月28日、1月30日、3月6日発) (大阪・東京発着)
- 5 南インド(龍樹菩薩)とガンダラの旅(12日間).....425,000円より  
(昭和63年7月~昭和64年3月 毎週水曜日発) (大阪・東京発着)

●同好の目的をもった面仲間あるいは教区単位のオリジナルな仏跡巡拝の旅のお便りを致します。先ずお問い合わせ下さい。

## アショカツアーズ スペシャル

- 1 デラックスインド仏跡巡拝の旅.....1,480,000円  
往復ファーストクラス利用・4名(2組)より送金員同行 (おふたりの料金)
- 2 アンコールワットの旅(10日間).....468,000円  
11月16日出発
- 3 秘境プータンとインド仏跡巡拝の旅(12日間).....445,000円  
2月14日出発
- 4 中国少数民族・苗族の里凱里と桂林の旅(9日間).....285,000円  
2月19日出発

## アショカツアーズ (株) ビーエス観光

〒530 大阪市北区中之島3丁目6-321 大阪ビル11F  
TEL: 06-444-3220 担当/山本・松崎  
〒104 東京都中央区銀座1丁目5-1 (第3丸の内ビル)  
TEL: 03-563-2691 担当/花崎・水野

# 散步道

劇団伽羅倶楽部

橋本千枝子さん

五月二十五日・二十七日、「なら・シルクロード博」イベント会場ビック・パオで全曹青主催ミュージカル「ブッタ・シヤカ・ムニの誕生」が上演された。釈尊（ブッタ・シヤカ・ムニ）と高弟サーリーブッタ（舍利仏）の問答「世尊のご誕生はどんなであったのでしょうか？」で始まるこの物語はブッタが生まれるまでの愛と感動にみちたドラマである。彼女はその釈尊（ブッタ）を堂々と演じられました。

おいたちは？

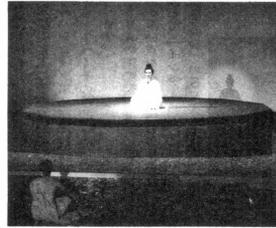
長崎県出身で、三人姉妹でしたが、父親の転勤などで各地をまわり十七才より大阪に住んでいます。旧姓は岡田でしたが、現在は結婚をして橋本となつています。

演劇が好きで高校時代から演劇サークルに入り活動していました。劇団伽羅倶楽部は、一九八〇年に創立されましたが、

創設時より一緒にやってきました。

今回の配役について？

まずブッタの配役に驚きました。私自身が女性であることが第一の関門でした。それにはブッタの悟を自分に置きかえ、得、体得し、気持ちを引き広げることがブッタの行動を表現する、役をこなすことではないかと考えました。



また、セリフの表現が非常に少ないので苦勞をしました。立振舞は全曹青の皆様に御指導をいただきました。

ブッタの役を演じてみていかがでした？

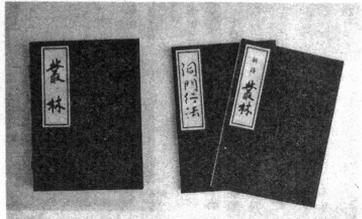
ブッタは人間であるがゆえにそれだけの悟を得たことにはすごいことであると思えました。人間は皆平等である、もしこれからブッタを演ずる機会があったとしても今後のブッタの生きざまを表現できるかどうか自分自身疑問に思っています。

最後にご自身のご宗旨は

浄土宗です。両親は異なった宗教の者同志の結婚でいろいろな面で大変苦労したそうです。私は結婚をして主人の方の宗旨 浄土宗を信仰しています。

## 叢林を刊行

愛三曹青十周年 記念共同出版  
愛一管内正和会二十周年



愛知第三曹洞宗青年会（愛三曹青・會長石神俊彦）が昭和五十一年に発会し、十周年を迎えた。その間に行なわれた研修会の法式行持についてまとめあげた「洞門行法」を十周年記念事業として発行することになった。

さらに講師の小島璋允師が復刻の意をあたためていた「叢林」と合本することにもなりまた、愛知第一宗務管内「正和会」の二十周年をあいまって共同出版の運びとなった。

本書は「洞門行法」と「叢林」からなり熟読玩味することにより、宗乗眼を開く一助にもなり、漢文や詩偈に親しんでもらう糧として、苦勞をしても読んで頂きたい書物である。

## 仏教者が初き靈の疑いに答えよう

程澤俊の「初き靈の疑いに答えよう」といふ本をお読みください。

この冊子を読めば、あなたは、たたり信仰や、霊感現象を仏教者から考えられるか、という現代の問に答えるための、霊魂のしくみを仏教の教理とどう違うか、というのを、お読みください。読者みなさんに、何が正しいのかを考えていただくことになり、何となく感謝と喜びを感じていただくことになり、（愛読者）たりはあつたか、生き方を下さるよう折っております。

頒布価格割引表

1冊～9冊	@	350
10冊～29冊	@	300
30冊～49冊	@	250
50冊～199冊	@	200
200冊～499冊	@	150
500冊以上	@	100

送料早見表

1冊	170円
5冊	290円
10冊	250円
20冊	300円
30冊	350円
40冊	400円
50冊	500円
100冊	普通小包扱いのため、地域により違いあり。520円～1120円
600冊	地域により違いあり。1,300円～1,900円



不安時代の「霊」を斬る

生命問題、臓器移植の問題等で曹青大会講師としてなじみの深い中野東輝先生が有任教企画（〒100 東京都台原区根岸1-15-16）ライオンズビル606 TEL（〇三）八七二（九九三五）より本を出版されました。

愛知第三曹洞宗青年会 事務局  
〒470-0121  
愛知県知多郡東浦町石浜庚申坊二丁目増福寺内  
TEL 〇五六二 八三三 三六〇三  
FAX 〇五六二 五三三三

